

令和6年度 第3回宮城支部評議会の概要報告

開 催 日 時	令和7年1月17日（金）14：00～16：00
開 催 場 所	全国健康保険協会宮城支部会議室
出 席 評 議 員	赤間評議員、阿部評議員（議長）、稲妻評議員、小田島評議員、栗原評議員、佐藤評議員、沼口評議員、門間評議員 （五十音順）
議 題	1. 令和7年度 宮城支部保険料率及びインセンティブ制度について 2. 令和7年度 宮城支部事業計画（案）及び予算（案）について
議 事 概 要 （主な意見等）	<p>◆事務局より、各議題について説明。</p> <p>◆各評議員より、各議題内容に関してご意見をいただいた。</p> <p>1. 令和7年度 宮城支部保険料率及びインセンティブ制度について</p> <p>【被保険者代表】</p> <p>事務局からの説明を踏まえ、来年度支部保険料率が10.11%となることはやむを得ないと考えている。しかし、賃上げの流れに伴い、保険料負担の増加を感じている。</p> <p>準備金が6兆円に積み上がろうとしている状況下で、例えば、保険料率の支部間格差や医療の提供体制の都道府県格差を是正するための施策を実施するなど、法定準備金を超えた部分の使い方について再検討いただきたい。</p> <p>【事務局】</p> <p>準備金については、運営委員会でもその役割について議論がなされており、「法令で確保することが義務付けられた医療給付費等の1か月分相当となる準備金」と、「できる限り長く現在の平均保険料率10%を超えないよう、中長期の視点で財政運営を図るための準備金」に分けて、それぞれイメージしている。</p> <p>また、保険料率の支部間格差については、保険料率が高い支部を対象とした「保険者努力重点支援プロジェクト」を行っており、協会けんぽ全体として保険料率の格差是正に向けた取組を行っている。</p> <p>【学識経験者】</p> <p>全国平均と比較して、宮城支部の「新生物＜腫瘍＞」の入院医療費が高い理由は把握してい</p>

るのか。

【事務局】

宮城支部の「新生物<腫瘍>」の入院医療費を細かく分析したところ、「気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>」の医療費が最も高いという結果となった。肺がんの最大の原因は喫煙と言われており、宮城支部は喫煙率も高いため、このことが最大の理由ではないかと考えている。

【学識経験者】

宮城県では禁煙対策がそこまで進んでいないように思われるが、協会けんぽとして何か取組は行っているのか。

【事務局】

喫煙者個人に対して、禁煙案内文書を送付するなどのアプローチを行ったことはあるが、不調な結果に終わってしまった。

現在は、宮城県、仙台市、協会けんぽ宮城支部共同で実施している「受動喫煙防止宣言施設登録制度」に注力しており、事業所に対するアプローチを行い、喫煙できる場所を減らしていき、結果として喫煙者を減らすという取組を行っている。

【被保険者代表】

昨年まで、健康づくり推進協議会に委員として参画していたが、その中でも宮城県の健康課題として、喫煙率やメタボ率の高さが取り上げられていた。宮城県全体としてこれらの課題に対する取組が必要との意見が出ていたので、情報提供させていただく。

【学識経験者】

勤務先でも敷地内禁煙に向けた取組を進めているが、目標達成までには時間が掛かる見込み。継続した取組が重要と考える。

【事務局】

宮城支部としても、前述の「受動喫煙防止宣言施設登録制度」の登録施設数の拡大に加えて、禁煙に関する高名な学識者を保健指導研修会の講師に招き、保健指導者の禁煙指導スキルを高めるなどの取組を行っている。

今後こういった禁煙に関する取組に力を入れていきたい。

【議長】

令和7年度の宮城支部保険料率について、令和6年度の10.01%から0.10ポイント引き上

げ、10.11%とすること、保険料率の変更時期を4月納付分（3月分）からとすることに異論はないということによろしいか。

→全会一致で承認。

2. 令和7年度 宮城支部事業計画（案）及び予算（案）について

【学識経験者】

詳細なデータを保有しているのは協会けんぽの強みである。今後も全国のデータと比較し、好事例を横展開しながら、これらのデータの分析や課題の抽出、抽出した課題に沿った施策の実施や効果測定などに取り組んでいただきたい。

また、働く人のメンタルヘルス不調が多くなっていると感じている。小規模の事業所だと、独自で情報収集を行うことが難しく、公的機関からのサポートも届きにくい。産業保健総合支援センターなどと連携して、こういった問題への働きかけを行っていただきたい。

【事務局】

データの分析や課題の抽出、効果測定などは、今後も継続して取り組んでいきたい。

メンタルヘルス不調について、傷病手当金の申請割合に占める精神疾患の割合が以前に比べて多くなっている。医療費適正化の観点からも、こういった課題に取り組んでいきたい。

また、産業保健総合支援センターとの連携は以前から行っており、当該センターから講師を招いてメンタルヘルスの講義を行う、メールマガジンに当該センターが実施するイベントの案内文を掲載するなどの取組を行っている。令和7年度も連携を強化しながら様々な取組を実施していきたい。

【被保険者代表】

医療費適正化には、医療機関を受診する前の予防が非常に重要である。例えば、宮城県はメタボ率の高さが健康課題だが、こういった課題の解消にアプローチしていくことで、医療費の抑制や保険料率の引き下げに繋がるのではないか。

【事務局】

予防の重要性は協会けんぽとしても承知している。

健診を毎年受診することや、健診結果に基づき特定保健指導を受けたり医療機関を受診したりすること、その上で日々の健康づくりに取り組む「健康づくりサイクル」の普及・定着を、協会けんぽ全体で取り組んでいる。

この「健康づくりサイクル」の周知が進めば、医療費適正化に繋がると考えている。

【被保険者代表】

とある事業所の従業員で、事業所から定期健診や生活習慣病予防健診などの健康診断を受けさせてもらえなかったという話を聞いたことがある。

協会けんぽとして、個別に健康診断の受診の有無は把握しているのか。

【事務局】

協会けんぽでは、35歳以上の従業員が生活習慣病予防健診を受診する、あるいは40歳以上の従業員の定期健診データを事業所から提供いただいて、健康診断の結果を把握している。

また、生活習慣病予防健診の案内は事業主宛てとなるが、小規模事業所の被保険者には個別に受診の案内を送付しており、今後は規模を拡大する予定である。

【議長】

宮城支部事業計画（案）及び予算（案）について評議会として了承するという事によろしいか。

→全会一致で承認。

特 記 事 項

- ・傍聴人：なし。
- ・次回は令和7年3月開催予定。